

産業建設部（地域振興課・地域整備課）

問 市街化区域が1%余りの能勢町で、新たな産業誘致に向け市街化調整区域の土地を有効に活用していくため、用地の集約化に取り組まれている。その計画区域と進ちょく状況、また今後の取組みを問う。

答 集約化の区域については大里区、宿野4区、柏原区の3地区で進めている。対象面積は24haで地権者説明会を令和4年度から始め、令和6年度は地権者による協議会の設立をめざしている。現在、都市計画法等の関係法令の協議を進めているところで、協議が整えば事業化をしていく。

問 水道事業が令和6年4月1日から大阪広域水道企業団へ移行することで、大阪広域水道企業団への負担金 約3億5千万円が計上されている。その内訳と、後年度の負担は発生するのか問う。

答 負担金の内訳は、長期債分の元金1/2の7314万円、利子の1/2の1781万円、高料金対策分1億315万円、累積赤字解消分1億5527万円となる。次年度以降は、簡易水道事業に要した長期債分は令和28年度まで償還する。また国から受ける高料金対策分については10年間企業団に支払う。

問 オープンから20年以上が経過する観光物産センターの活性化を図るため、道の駅活性化構想を策定する予算が示されているが、どのような構想を検討するのか。また、基本構想の目標をいつ頃としているのか問う。

答 現在の道の駅のリニューアルか、または新たなところに移転するか、能勢町として選択すべきよりよい道の駅を考え、令和6年度中に構想をまとめたい。リニューアルか、また移転となれば土地の確保等と時間がかかるなど、いつを目途にとは答えられない。

問 町道等除草事業にかかる報償費の減額に対し、作業委託料が令和4年度から毎年度増額されている。地域のコミュニティ活動の中でも、高齢化に伴う共同作業等について様々な課題が見えてきているのではないかと考えられるが、今後の町道等除草作業について問う。

答 地域のコミュニティ活動として作業されているところは大事であるが、高齢化という要因があり除草作業が複数回できない実態がある。除草を専門とする業者に委託しながら町道の除草管理をしていきたいため委託料を増額している。

教育委員会（学校教育総務課・生涯学習課）

問 学校給食について問う。

答 引き続き過疎債を活用し、全額無償化を実施する。食料価格が高騰しているが、その中でも国産材料を使い、安心安全な給食を提供する。

問 新しい生涯学習施設として改修を予定している旧久々小学校体育館の劣化診断調査について問う。

答 体育館の耐用年数は47年、現時点で築24年が経過しているが、その間大規模な補修改修はされていない。現時点では目視で雨漏り、屋根の崩落等を把握している。今後継続的に使用するにあたって、新築と同等程度の年数を耐えられるか調査をする。旧庁舎周辺整備基本計画では、著しく劣化していなければ修繕の上リノベーションをすることになっている。劣化診断、コンクリート試験の結果から改修計画を策定し、概算改修費用を算出するが、結果によっては様々な検討が出てくると考えている。

問 ささゆり学園の体育館のスポットクーラー導入について問う。

答 体育館を建設して8年、長寿命化計画に基づく整備では設置型クーラーも視野に入れる必要があるが、現時点では改善交付金等の活用ができないため、まず可動式のスポットクーラーを第1体育館に9基、第2体育館に5基導入する。

問 生涯学習センターの図書室の利用状況について問う。

答 10～20代の利用率が著しく低い。若者の利用促進のために人気コミックや若者向けの雑誌を揃えており、PRに努める。自主学習スペースを設置しているが不十分なので、新たな生涯学習センターに向けた構想では、スペースの確保や開館時間延長について検討する必要性を感じている。